

共同現地点検 報告書

- 1 日 時 令和元年5月30日(木) 13:30~14:30
- 2 集合場所 湯沢西小学校校門前
- 3 出席者 湯沢河川国道事務所 保全対策官 佐々木 慎
湯沢西小学校 教諭 土田 邦子
湯沢南中学校 (欠席)
教育委員会事務局教育部学校教育課 指導班 主幹 内藤 英典
湯沢警察署 交通課 交通規制主任 高橋 友和
湯沢市建設部建設課 維持班 主幹 阿部 貴之 主任 阿部 健志
土木班 主幹 石成 克久 主任 竹下 了

4 点検箇所 千石町地区生活道路交通安全対策協議会による社会実験箇所

- 1) 市道万石小豆田線(湯沢西小学校前道路)
狭さくによる減速・通過交通減少対策
- 2) 市道西松沢線ほか交差点(木山方踏切周辺)
交差点カラー化による注意喚起
- 3) 市道西松沢線(上記交差点から西松沢公園区間)
車道幅員減少による歩行者・自転車の安全確保

5 現地点検

1) 市道万石小豆田線の狭さくによる減速・通過交通減少対策箇所

- 実際に現地に狭さく(仮設)を設置し、自動車の走行方法を確認
- 第2回千石町地区生活道路交通安全対策協議会にて確認のあった自転車の通行方法について確認
- ※生活道路のゾーン対策マニュアルでは下記のとおり記載されている
狭さく部の路肩に自転車が通行する空間が十分にある場合には走行位置を明示するなどして、自転車と自動車を効果的に分離することが望ましい
本道路の狭さく設置箇所は、ポストコーンと歩車道境界ブロック間に1mの空間を確保することができることから自転車が狭さくの中を通行できることを通行実演し安全に通行できることを確認
- 夜間対策として、ポストコーンの間に点滅灯を付けたカラーコーンを設置することを確認
また、自動車の誘導対策として、カラーコーンに矢印看板を設置することを確認

【自動車の走行方法】



【自転車の通行方法】



【自転車の通行方法】



2) 市道西松沢線ほか交差点カラー化による注意喚起箇所

- 事故率の高い、交差点（横断歩道含む）をカラー化することにより注意走行が喚起され事故防止のための対策であることを確認
- 西小方面から南中方面に右折する自動車がショートカットで対向車側に入っていくため、南中方向から来る車とぶつかる可能性があり、何らかの対策が必要であることを確認

【交差点カラー化箇所】



3) 市道西松沢線車道幅員減少による歩行者・自転車の安全確保

- 実際にどれだけ車道が狭くなるのかをカラーコーンを置いて確認
現在の外側線が50cmほど内側へ移動する
車道を狭くした状態で車の流れを確認

【歩行者等の安全確保対策箇所】

